

## 【平成30年度 事業計画】

### I 放送関係の各種事業の企画と実施、学会、講座、コンクール等への協力

1. 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト等への協力
2. 「東京国際映画祭」実行委員として参加
3. 協会及び協会員主催による作家育成(放送作家・脚本家含む)を目的としたセミナーの実施

### II 未来を担う若手脚本家の発掘と育成

「創作ラジオドラマ大賞」脚本公募

(共催:NHK 後援:放送文化基金 後援)

「創作テレビドラマ大賞」脚本公募

(共催:NHK 後援:NHKエンタープライズ、放送文化基金)

### III 協会の広報活動

1. 協会員向けメールマガジン発行(隔月刊および号外)
2. 協会及び協会員の活動を紹介するホームページの維持・管理・更新
3. メルマガを通じたテレビ・ラジオ業界の現状調査
4. その他広報活動(番組・出版 企画など)

### IV 放送文化の向上に寄与した団体および個人の表彰

〔功労者顕彰〕内館 牧子 小山 泰雄 菊池 豊 倉田 ひさし 坂田 俊子  
沢口 義明 柴田 道広 詩村 博史 下川 博 城 啓介  
筒井ともみ 照沼まりえ 西谷 清治 橋田 正明 洞澤美恵子  
渡 公平 楡木 啓子 寺崎 要 田中 良子

### VI.その他の定款に定める事業以外の活動

「市川森一・藤本義一記念 東京作家大学」への協力

平成27年4月に開講した作家養成スクール「東京作家大学」のカリキュラム作成/講師招へい業務に協力(運営母体の株式会社 大阪教育研究所は賛助会員として日本放送作家協会の運営維持に協力)。4年目は4月に開講(予定)。1年生・2年生・3年生・セミナー生 合わせておよそ300人の受講生が学んでいる。

(活動内容については日本放送作家協会HPを参照してください)

### VII. 支 部

(1)関西 (2)中部 (3)九州 (4)北海道 (5)中国

各支部とも管内における文化事業への参加、協力、地域高校等の校内放送関係事業の支援等、それぞれ支部の特殊性に応じて実施

(1)関西支部

- 1、 心齋橋大学第32期生の開講  
当支部の放送作家が中心になって講師を務める「心齋橋大学」の32期生を募集し、開講する
- 2、 関西支部のメンバーによる「ぶっちゃけトーク」を再開する。  
昭和56年より始まったトークイベントの第300回を目指す。
- 3、 「藤本義一文学賞」も今回で4回目の募集となる。今年も当支部が選考及び表彰に協力する。
- 4、 昨年度に新設した「自分史」の講座から2人、出版へとサポートすることができた。今年も継続する。
- 5、 心齋橋大学と協力して、ラジオドラマの脚本を募集し、優秀作品を放送する。  
当支部へ入会の推薦をし、関西支部の会員を増やす。

(文責:梅林貴久生)

(2)中部支部

『中部テレビ大賞 U-30』の実施

中部支部として、年間の最大行事である「中部テレビ大賞 U-30」を今年度も開催。去年から30歳以下の若手ディレクターの作品のみを選考する形に変更。当初は応募作品数に不安はあったものの、最終的に20本の力作が中部7県のテレビ局から寄せられた。平成30年度も、9月に同形式での開催を予定している。

(文責:柳瀬元志)

(3)九州支部

- 1)従来より開催している放送シナリオ講座の継続。講師陣は支部会員若干名。(日本放送作家協会九州支部&西日本新聞TNC文化サークル・アイ&カルチャ天神共催)
- 2)シナリオコンクール「南のシナリオ大賞」の運営、ならびに大賞入選作品のウェブ・ドラマ化およびインターネット配信(1年間公開)。
- 3)支部会員主宰による演劇活動の展開(支部会員の書き下ろし脚本をもとに福岡市内の劇場で演劇を公演する)。
- 4)全国高等学校放送部の活動支援。全国高等学校制作ラジオドラマの制作指導。
- 5)支部ホームページの継続的運営。
- 6)支部運営のための定期的ミーティングを開催(年二回)。
- 7)支部会員親睦のための定期的懇親会の開催(年二回)。
- 8)そのほか支部活性化のための事業を適宜、採択する。

(文責:盛多直隆)

(4)北海道支部

- 1)高校生の放送活動への支援と協力  
①NHK杯全国高校放送コンテスト石狩大会の後援および審査員の紹介

- ②NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会の後援および審査員の紹介
- ③北海道高等学校文化連盟放送コンテスト石狩大会の後援および審査員の紹介
- ④北海道高等学校文化連盟放送コンテスト全道大会の後援および審査員の紹介
- 2)新人作家の養成・発掘のための支援と協力
  - ①道新文化センター「シナリオ実践教室」を支部として担当(通年)
  - ②日本脚本家連盟北海道支部主催の「北のシナリオ大賞」に協力
  - ③北海道ラジオの会主催の「北のラジオドラマ大賞」に協力
- 3)北海道内放送関連の文化事業への協力と参加
- 4)北海道支部ホームページの充実

(文責:伊藤正浩)

#### (5)中国支部

平成29年度は 支部全体としての取り組み・活動ができなかった反省をふまえ平成30年度は「中国支部」の存在をより多くの人に知ってもらえるよう定期的な支部総会を開き、次の催事を目標に取り組んでまいります。

日本放送作家協会創立60周年へ向けて「(仮)中国支部の歩み展」

- ・開催時期 9月～10月 の一週間
- ・開催予定 広島市内の図書館あるいは公民館など
- ・内容
  - 中国支部とテレビ・ラジオの関わりをパネルで展示
  - 協会員が携わった過去の台本・脚本などの展示
  - 現在協会員が携わっているテレビ・ラジオの台本・脚本の展示
  - 協会員が制作した「映画」「書籍」「動画コンテンツ」「イベント活動」などをもとに、映画上映&トークショー
  - 「これからの地方のテレビ・ラジオ」をテーマにした講演

(文責:名切勝則)

## VIII.運営

- 1.財産の安定 収支の安定均衡を図るため、事務局機能のより一層の能率化を目指す

平成30年4月2日

一般社団法人日本放送作家協会  
理事長 股野 尚子